

『一橋経済学』投稿規定

1. 投稿資格

- ①本学経済学研究科教員（本研究科の大学院生、他研究科及び他大学の研究者との共著を含む）
- ②本学経済学研究科大学院生
- ③本学経済学研究科博士課程単位修得者
- ④本学経済学研究科博士学位取得者

2. カテゴリー

- (1) 論文、(2) 研究ノート、(3) 調査報告

*オリジナル・未発表であること。資料・翻訳などの掲載は認められない。

但し、1.②～③については(1)論文のみとする。1.①の投稿のカテゴリーは自己申告による。ジュニア・フェローは教員と同様の扱いとする。

3. 論文審査について

- (1) 1②の投稿に対しては指導教員、ないしは指導教員に準じる本学教員から投稿を認めるとする旨の承諾書を付けること（様式は問わない、最終頁の<例>参照）。
- (2) 1②～④の投稿に対してはレフリー審査（レフリーは1名）を行う。①については本人から希望があった場合のみ、本学経済学研究科以外の研究者・教員によるレフリー審査を行う。レフリー審査を受けた論文については掲載時に「査読付き論文」である旨を明記する。なお、教員と院生の共著についてもレフリー審査を求めることができるものとする。
- (3) 査読対象論文の採否はレフリー審査に基づき『一橋経済学』編集委員会で決定する。審査基準は(a)そのまま掲載可、(b)改訂の上、掲載可、(c)改訂の上、再審査、(d)掲載拒否とする。また、下記の字数制限に合わせて論文の短縮を求めることもある。
- (4) 本学院生は投稿の際、指導教員氏名を知らせること。

4. 雑誌の公刊について

- (1) 本誌の刊行は年2回（原則、7月と1月）とする。
- (2) 査読対象論文については随時、投稿を受け付ける。（レフリー審査を経ない）教員の投稿については、1月刊行の場合は前年の9月末、7月刊行の場合は3月末を原稿提出の締め切りとする。
- (3) 投稿方法、投稿先については、下記を参照すること。

5. 提出原稿について

- (1) 原稿は「完全原稿」で提出すること。

- (2) 言語は日本語のみとする。英語の論文は、 *Hitotsubashi Journal of Economics* に投稿のこと。
- (3) 原稿は 1 行 36 字・1 頁 29 行に設定、電子ファイル (PDF ファイル及びワードファイルの 2 点) を、下記の経済学研究科研究支援宛にメールにて送付すること。ハード・コピーは原則として受け付けない。
- (4) 原稿は横書きで、字数に制限がある。論文は 3 万 2 千字以内で図表は 20 枚程度まで、研究ノート・調査報告はともに 1 万字以内とする。
- (5) いずれの場合も、別途、氏名を含む英文によるアブストラクト (200 語以内) を本文とは別に 電子ファイル (PDF ファイル及びワードファイルの 2 点) にて提出すること。(数式・グラフ・図表を使用することは出来ない。)
- (6) 特殊な文字、記号または数式などを使用する場合には、書体 (ゴシック、イタリックなど) を含め、正確に指定すること。また、行間や行取りなどについても、特別な割り付けを希望する場合には、指定を正確に行うこと。
- (7) 注は、文中の当該箇所の右肩に番号を振り、原稿の各頁の下の欄外、ないしは文末に、番号順に掲載すること。

6. 参考文献表について

引用文献、参考文献は本文の末尾に一括して並べること。欧文と和文の順に文献を分け、それぞれの著者を欧文はアルファベット順に、和文はあいうえお順に並べること。同一著者については、発行年の古い順に並べること。

(a) 単行本の場合

(欧文文献) 著者名<姓、名の順> (発行年) 書名<斜体> 出版社, 出版地

(和文文献) 著者名 (発行年) 『書名』 出版社

例: 高山憲之 (2004) 『信頼と安心の年金改革』 東洋経済新報社

(b) 単行本中の論文の場合

(欧文文献) 著者名<姓、名の順> (発行年) “論文名,” In 編者 ed(s), 書名<斜体>, 出版社, 出版地, 頁-頁

例: Saito, M. (2001) "An Empirical Investigation of Intergenerational Consumption Distribution: A Comparison among Japan, the US, and the UK," In S.Ogura, T.Tachibanaki, and D. Wiseeds. *Aging Issues in the United States and Japan*, The University of Chicago Press, Chicago, pp.135-167.

(和文文献) 著者名 (発行年) 「論文名」 編者名『書名』 章頁-頁 出版社

例: 石川城太 (2001) 「戦略的貿易政策」『国際経済理論の地平』 井川一宏・ 大山道広 編, 第 19 章, 287-308 頁, 東洋経済新報社

(c) 雑誌掲載論文の場合

(欧文文献) 著者名<姓、名の順> (発行年) “論文名,” 雑誌名<斜体> 巻 (号), 頁-頁

例: Sato, M. (2003) "Tax Competition, Rent Seeking and Fiscal Decentralization," *European Economic Review*, 47, pp.19-40.

(和文文献) 著者名 (発行年) 「論文名」『雑誌名』 巻 (号) 頁ー頁

例：田近栄治・油井雄二 (1989) 「日米法人企業の税負担ー平均実効税率 の計測」
『経済研究』 40 (1) , 20-33 頁。

7. 図表や写真の処理について

- (1) 表は本文の中に組み込んでも構わない。図は、本文のどこに挿入するかを明示した上で、原稿の最後一括してまとめること。
- (2) 写真や図表の著作権が執筆者自身にない場合や、他誌からの転載などの場合には、必ず転載許可を自身でとること。
- (3) 図・写真は、原則としてそのまま製版できる状態で提出すること。

8. 校正について

- (1) 校正は、原則として二校までとする。
- (2) 「完全原稿」で提出することになっているので、校正は最小限の誤植などの訂正にとどめること。
- (3) 校正ゲラは、指定日までに必ず返却すること。
- (4) 著者が複数の場合は、代表者の責任で校正内容をまとめ一つの原稿に一括すること。

9. その他

- (1) 論文の著作権は、『一橋経済学』に帰属する。
- (2) 本誌に掲載された論文を転載する場合は、『一橋経済学』編集委員会の承認を要す。
- (3) 本誌に掲載された論文は、一橋大学機関リポジトリ等で公開される。
- (4) 本誌に掲載された論文の要旨については、文献検索サービス等を提供する第三者が利用することがある。
- (5) 本誌編集上の一切の責任は『一橋経済学』編集委員会にある。
- (6) 執筆者には本誌10冊と抜き刷り30部を編集委員会より贈呈する。
- (7) ご意見・要望がある場合には、下記に連絡・相談すること。

論文の投稿・問い合わせ先

一橋大学大学院経済学研究科・研究支援グループ『一橋経済学』担当

Eメール：genkou@econ.hit-u.ac.jp

<例>

『一橋経済学』編集委員 御中

『一橋経済学』投稿承諾書

経済学研究科 課程大学院生

さんの『一橋経済学』への投稿を承諾します。

年月日

指導教員

印

小特集について

1. 企画提案者は、経済学研究科教員とする。
2. 全体の量は、3万2千字×3＝9万6千字程度とする。
3. 構成については、企画提案者に一任する。
 - ――論文・研究ノート・調査報告・座談会等を、制限字数の範囲内で構成する。
4. 企画提案者は、テーマ・構成案（論文名・執筆者・字数等）を編集委員会に提出する。
5. 複数の提案があった場合は、編集委員会で順位を決定する。
6. 執筆要項については、投稿規定に準じるものとする。